

おもてなしICT協議会のご紹介

一般社団法人おもてなしICT協議会



おもてなしICT協議会について

『2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する懇談会』に
明示されたアクションプランを指針に

「企業の枠を超えた共創によるICT基盤整備の実現」を目指して設立

- ◆ 2016年5月 一般社団法人 おもてなしICT協議会 発足
代表理事に **西 宏章**（慶應義塾大学 理工学部 教授）
副理事長に **梅本 和典**（元イオンリテール株式会社 特別顧問）が就任
国内の民間企業や自治体が賛同し会員となり、活動を開始
- ◆ 2017年1月 2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける訪日外国人の利便性向上に向けた実証実験
を千葉市から開始し、会津若松市、高松市、小諸市、山口県、広島県など実証エリアを拡大。
- ◆ 2018年7月 総務省より情報信託機能活用促進事業の実証事業を受託しさいたま市、広島県、沖縄県にて
実証事業を開始。
- ◆ 2021年5月 新型コロナウイルスの感染拡大により、我が国が目指すSociety 5.0の実現に向けた更なる機
運の高まりを踏まえ、新たな事業領域として、スマートシティサービスによる地域情報社会
の高度化と永続化、ポストコロナを見込んだ新しい観光立国構築の推進可能な体制を変更。



1. 役員

理事長 : 西 宏章 (慶應義塾大学 理工学部教授)

副理事長 : 廣場 啓祐

2. 顧問

長嶋 秀孝 (元 国土交通省・元公益社団法人 日本観光振興協会 常務理事)

相原 健郎 (東京都立大学 都市環境学部 教授・国立情報学研究所 客員教授)

渡辺 広之 (京都芸術大学芸術教養センター 客員教授・東武トップツアーズ顧問)

3. 理事、社員

ソフトバンク株式会社/フェリカポケットマーケティング株式会社/株式会社Miichisoft Japan

株式会社エスパステクノロジー/ジオテクノロジーズ株式会社/株式会社アーベルソフト

4. 特別賛助会員 ソニー株式会社、東武トップツアーズ株式会社、株式会社デジタルワレット、ピープルソフトウェア株式会社、株式会社シード・プランニング、シーオー・ジャパン株式会社、株式会社メディアスクエア、株式会社フライトソリューションズ、インタセクト・コミュニケーションズ株式会社、KPMGコンサルティング株式会社、株式会社エンバウンド、株式会社ベルシステム24

5. 賛助会員

千葉県、山口県、広島県、沖縄県、さいたま市、千葉市、成田市、会津若松市、高松市、小諸市、函館市、公益社団法人日本観光振興協会、日本忍者協議会、一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター、一般社団法人京都スマートシティ推進協議会、公益財団法人北海道観光振興機構、一般社団法人山口県観光連盟、一般社団法人こもろ観光局、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー、一般社団法人浦添市観光協会、一般社団法人沖縄市観光物産振興協会、一般社団法人美園タウンマネジメント、公益社団法人千葉市観光協会、一般社団法人山鹿温泉観光協会、一般社団法人天草四郎観光協会、ASOおぐに観光協会、高松兵庫町商店街振興組合、ほか

76団体
2025年1月現在

公益社団法人日本観光振興協会 会員

日本DX 地域創生 応援団 法人会員

(旧 一般社団法人デジタル田園都市国家構想 応援団)

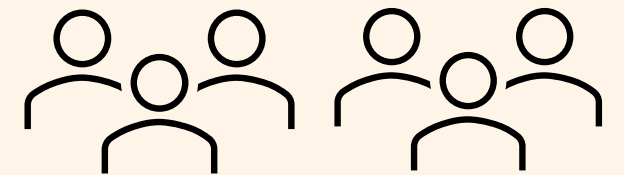
一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター 賛助会員

一般社団法人山口県観光連盟 会員

京都ビッグデータ活用プラットフォーム 特別会員

くまもとDX推進コンソーシアム 会員

美園タウンマネジメント協会 会員



①観光ICT



- ・訪日旅行者や国内旅行者の消費拡大
- ・観光DX・XR回遊施策



②地域社会ICT（スマートシティ）



- ・ヘルスケア
- ・交通
- ・観光
- ・地域通貨/ポイント



取り組み方針

- (1) 企業の枠を超えた**共創**によるICT基盤整備の実現
- (2) 社会実装の要となる**地方自治体の参画**を取り組みの柱とする
- (3) ICTソリューションをベースにした事業計画、運営体制とし、**会員のマネタイズ(収益事業化)**を図る
- (4) ICTを活用した地方創生を推し進め、政府が主導する**データ主導型社会の実現を目指す**

観光分野の提案では、旅マエ、旅ナカ、旅アトと観光シーンごとに会員企業のソリューションサービスを組み合わせ、利便性向上に向けた観光ソリューションビジネスを検討しています。

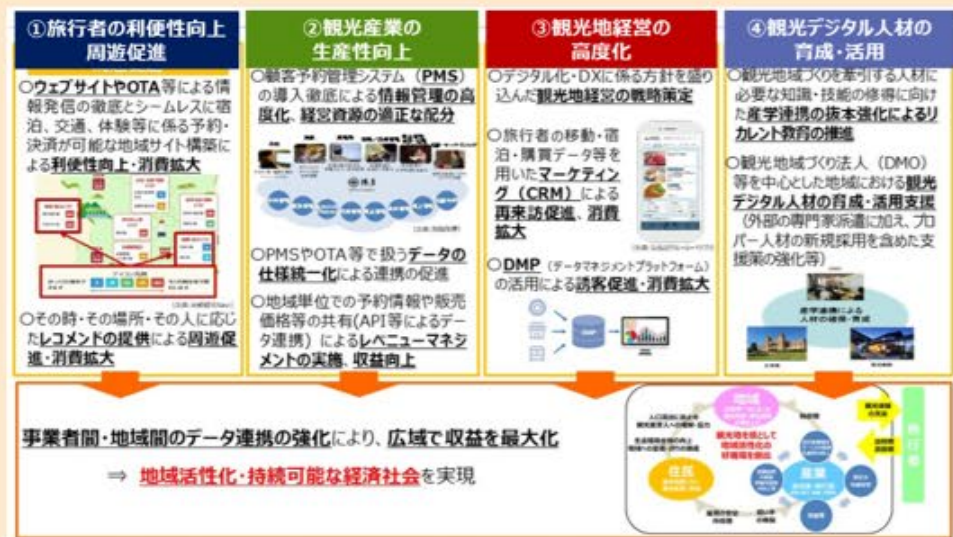
会員企業のソリューション

観光サイクルに応じたビジネス展開



観光庁の掲げるDXの推進

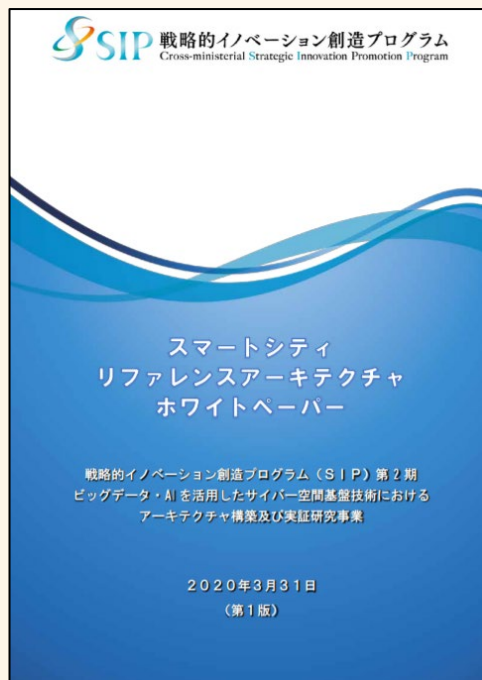
観光DXにおける4つの柱



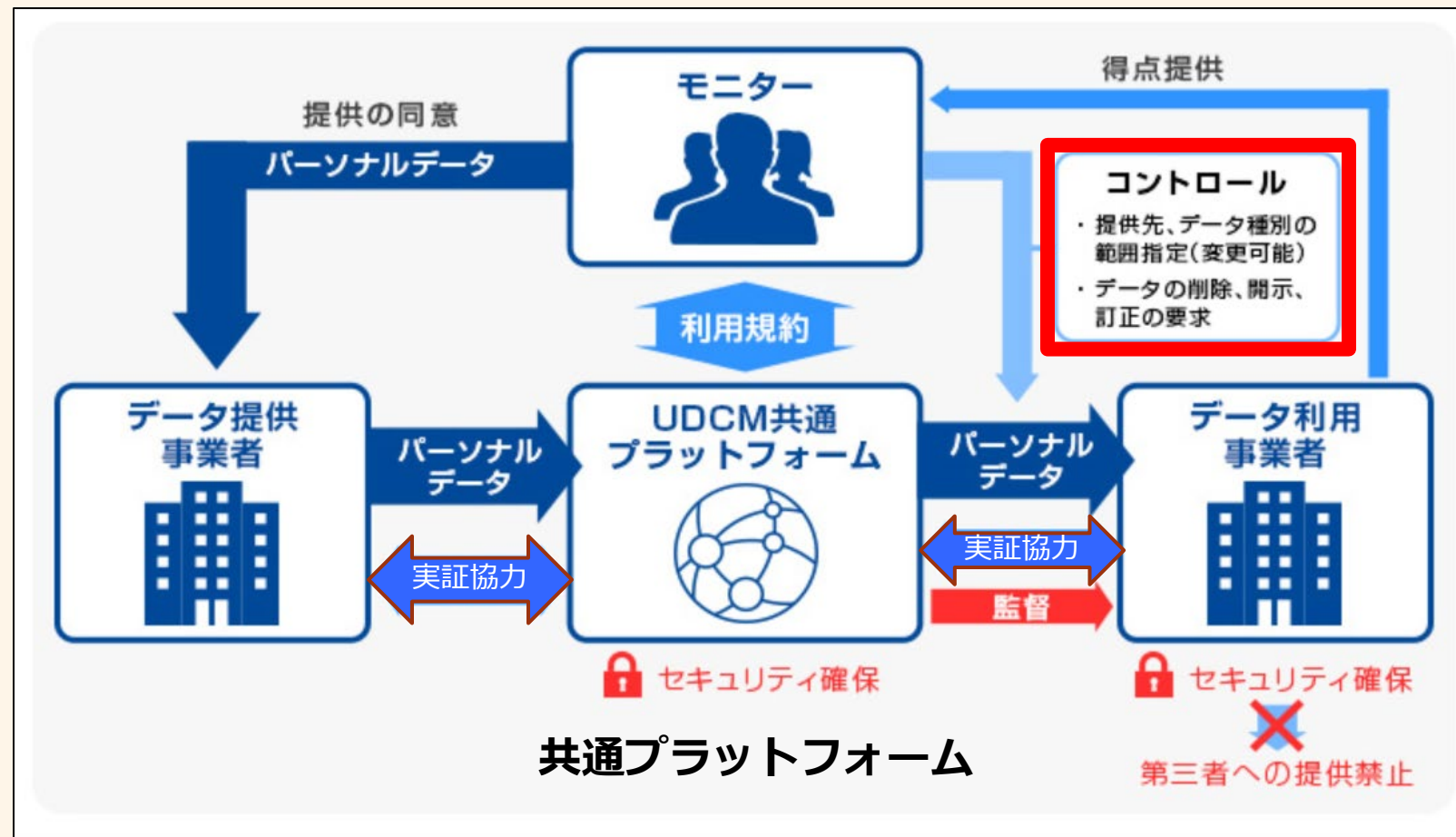
おもてなしICT協議会のスマートシティ分野

システムセキュリティ環境や個人情報・プライバシー保護等に配慮しながら、属性・サービス利用履歴等の個人データを収集・管理・活用する情報共通基盤（都市OS）となります。

～内閣府でまとめられた
「スマートシティリファレンスアーキテクチャー」
に基づき、改修を実施～



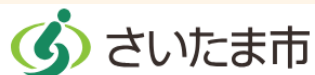
2020年3月31日公表



～ユーザーのパーソナル情報をコントロールするIFを提供～

共通プラットフォームさいたま版の横展開

他の自治体と共通プラットフォームさいたま版の共用を目指します。



さいたま市

共通プラットフォームのメリット

<https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/015/099/002/p092916.html>

◆コスト減

- ・整備済みのプラットフォームにより1から開発、整備をする必要なし
- ・維持管理費用の軽減

◆安心

- ・個人情報やデータ利活用に関する規約の整備
- ・ノウハウの提供

◆サービス共用

サービスの横展開により、他の自治体のサービスも利用可能

※一社）美園タウンマネジメント（UDCMi）の理事長は、当協議会の西宏章になります。
<https://www.misono-tm.org/inc/profile>



82/200が連携に関心
さいたま市のアンケート結果

協議会の主な取り組み

会員間の情報連携



- ・事業共創協議会
- ・観光分科会 ・スマートシティ分科会

有識者を交えた
定期的な勉強会・情報交換会

共創モデル 公募対応



- ・会員団体企業＋自治体
による実証事業の受託

スライドP15～17を参照

成果物の共有



- ・事業成果物の活用
特許申請等

J2G Analyzer（特許番号7138879号）
共通プラットフォームさいたま版（VCRM）

おもてなしICT協議会の事業受託



目的

観光分野/地域社会の情報取得
おもてなしICT協議会 会員との情報共有・連携 自治体、会員企業の勉強会

参加者

協議会の正会員・特別賛助会員・賛助会員ならびに関連自治体

講演テーマ

観光ICT

観光立国・観光DX・持続可能な観光事業
インバウンドの誘客促進・MICEテックの推進
観光DXの人材育成・オーバーツーリズム

地域社会ICT

スマートシティ・医療/介護/健康・防災・データ利活用
ビッグデータ分析・Society5.0

APPENDIX

＜受託実績一覧＞

受託事業一覧①

省庁	委託/支援事業	期間	展開エリア・主要団体
総務省	IoTおもてなし環境実現に向けた地域実証に係る調査請負	2016年	千葉市、成田市、イオン店舗(幕張、成田) MRI、おもてなしICT協議会
内閣府	戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型） スマートコミュニティサービス向け情報通信プラットフォームの研究開発	2016年	さいたま市 慶應義塾大学、工学院大学、東京電機大学、 イオンリテール、IIJ-イノベーションインスティテュート
総務省	情報仲介機能に係わる課題の抽出及び社会実装に向けた 検討に 関する調査研究	2017年	千葉市、会津若松市、小諸市(軽井沢町含)、 高松市、羽田空港、成田空港、幕張メッセ(ド ローン展)、みずほ総研、おもてなしICT協議会
内閣府	戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型） スマートコミュニティサービス向け情報通信プラットフォームの研究開発	2017年	さいたま市 慶應義塾大学、工学院大学、東京電機大学、 イオンリテール、IIJ-イノベーションインスティテュート
中小 企業庁	インバウンド消費需要促進事業商店街まちなか集客力 向上支援事業	2017年	高松市兵庫町商店街、おもてなしIT協議会 ソフトバンク、フェリカポケットマーケティング
総務省	情報信託機能活用促進事業「まちづくり（ヘルスケア） 分野とスポーツ・観光分野の情報信託機能に基づく パーソナルデータ利活用【地域・ヘルスケア・観光】」	2018年	さいたま市、美園タウンマネジメント、 広島県(FISE広島大会)、おもてなしICT協議会 ソフトバンク、フェリカポケットマーケティング
内閣府	戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型） スマートコミュニティサービス向け情報通信プラットフォームの研究開発	2018年	さいたま市 慶應義塾大学、工学院大学、東京電機大学、 イオンリテール、IIJ-イノベーションインスティテュート

受託事業一覧②

省庁	委託/支援事業	期間	展開エリア・主要団体
総務省	情報通信技術利活用事業費補助金 (地域IoT実装推進事業)	2018年	山口県全域 (幕末維新回廊、ゆめ花博)おもてなしICT協議会
総務省	情報通信技術利活用事業費補助金 (地域IoT実装推進事業)	2019年	東日本連携都市+さいたま市 日本観光振興協会、Softbank、おもてなしICT協議会
観光庁	誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成 実証事業	2019年	京都市、おもてなしICT協議会、KICS、京都フラワーツーリズム
総務省	情報信託機能活用促進事業 【情報信託機能を活用した事業（ヘルスケア、金融、IoT）分野】	2019年	さいたま市 おもてなしICT協議会、美園タウンマネジメント、イオンリテール、Softbank、タニタヘルスケアリンク、ウェルシア、シルタス、
内閣府 (NEDO)	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」	2019年	さいたま市、NII、Softbank、エスパステクノロジー、インフォマティクス
内閣府 (NEDO)	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」	2020年	さいたま市、NII、Softbank、エスパステクノロジー、インフォマティクス
総務省	データ利活用型「スポーツ・働き方」支援プラットフォームビジネス 構築事業	2020年	さいたま市 鴨川市、ミツフジ、Softbank、日本IBM 他
総務省 (NICT)	データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発 情報銀行による匿名化データサービスと地域持続化実証	2020年	さいたま市、高松市、慶應義塾大学・早稲田大学・ フェリカポケットマーケティング

受託事業一覧③

省庁	委託/支援事業	期間	展開エリア・主要団体
総務省 (NICT)	データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発情報銀行による匿名化データサービスと地域持続化実証	2021年	さいたま市、高松市、慶應義塾大学・早稲田大学・フェリカポケットマーケティング
内閣府 (NEDO)	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」	2021年	さいたま市、NII、Softbank、エスパステクノロジー、インフォマティクス
総務省	データ利活用型 共通プラットフォームさいたま版の分野間・都市間連携促進事業	2021年	さいたま市 美園タウンマネジメント、スロージョギング協会、フェリカポケットマーケティング、Softbank他
内閣府	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期 「ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術」	2022年	さいたま市、大阪観光局、NII、Softbank、エスパステクノロジー、ティーアンドエス
総務省 (NICT)	データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発情報銀行による匿名化データサービスと地域持続化実証	2022年	さいたま市、高松市、慶應義塾大学・早稲田大学・フェリカポケットマーケティング
観光庁	観光DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業	2022年	全国都道府県市町村 日本観光振興デジタルPF推進コンソーシアム
観光庁	事業者間・地域間におけるデータ連携等を通じた観光・地域活性化実証事業	2023年	全国都道府県市町村 日本観光振興デジタルPF推進コンソーシアム